

ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 特定非営利活動法人 FEE Japan

【ESD ユネスコ世界会議の成果】

FEE 本部のエコスクール担当役員 Lesley Jones が世界会議の開催に併せて来日していたため、エコスクールの歴史から、現在の取り組みについて講演しました。日本での取り組みについては、自治体が主導となって取り組んだ厚木市の例を、厚木市環境政策課の向山氏にご紹介頂きました。厚木市では地球温暖化対策実効計画の中で、エコスクールを推進し、環境に関心を持つ児童を増やしていくことを政策の一つと位置づけています。今回のセミナーでは市内の相川小学校と緑ヶ丘小学校が、エコスクールプログラムによってどのように子ども達に変化したか、いかに地域の人々を巻き込みながら、プログラムを進めることが出来たかを、参加者の皆さんと共有することが出来ました。厚木市では小学校でプログラムを体験した子ども達が、中学生になって自発的にエコスクールプログラムを始めた例もあり、今後の広がり期待をしています。また、協働する地方の NPO 法人が地元の小学校に出向き、プログラムをサポートするケースを NPO 法人 環境市民の下村氏にも発表頂きました。兵庫県加西市西在田小学校の子ども達が身の回りの問題点を探し、全校生徒で解決策を考え、実行に移し、成果を発表するところまでを7つのステップに沿って、取り組んだことにより、グリーンフラッグを取得することが出来ました。最後に FEE Japan 代表理事の伊藤から、これからの環境教育で必要な、「自分達で考える力」をつけることができるエコスクールプログラムの普及、推進に尽力することを皆様にお約束いたしました。

参加者の皆様からは、従来型の先生からの指示に従って行うプログラムではなく、7つのステップのどの段階でも、子ども達が考え、答えを出していくという過程がとても良かったと好評でした。ただ、日本の教育システムの中で、多忙を極める教職員の方がこのプログラムを受け入れて広がっていくためには、まだまだ課題も多いのではないかと感想も頂きました。



【今後の展望】

世界 54 カ国・地域で 1,000 万人以上の児童・生徒が取り組んでいるエコスクールプログラムをもっと、日本の子ども達に体験してもらえるようプログラムの周知に取り組んでいきます。環境問題は、国境のないことを子ども達に意識してもらい、世界に広がるエコスクール校の子ども達と交流出来るようにしていきます。海外校との連携を取り、メールやスカイプなどを利用して、世界各国の子ども達と同じ目標に向かって行動し、話し合いの場を持つことが可能になるよう、エコスクールの仕組みづくりにも努力していきます。環境問題について自分で考え、仲間と協力しながら解決していくことが出来るエコスクールプログラムを一人でも多くの日本の子ども達に体験してもらいたいと思います。

